

マイナビ ツール・ド・九州2026 事前告知番組制作・放送業務委託

仕様書

1 目的

2026年10月に開催する「マイナビ ツール・ド・九州2026」の大会機運醸成・ブランド力向上を目的に、事前告知番組の放送を計画しており、本番組の取材・制作・放送調整を一括で委託する。

2 マイナビ ツール・ド・九州2026概要（予定）

形体	UCI（国際自転車競技連合）認定サイクルロードレース
主催	ツール・ド・九州2026実行委員会 一般社団法人ツール・ド・九州
開催時期	2026年（令和8年）10月
レース形式	転戦型ステージレース （開催地：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県）
参加チーム	18チーム想定
大会日程	〈エキシビジョン〉 2026年10月9日（金）長崎県（佐世保市） 〈ステージ1〉 2026年10月10日（土）福岡県（福岡市、糸島市）・佐賀県（唐津市） 〈ステージ2〉 2026年10月11日（日）熊本県（阿蘇市、南小国町、産山村、高森町、南阿蘇村）・大分県（竹田市、豊後大野市） 〈ステージ3〉 2026年10月12日（月）宮崎県（宮崎市、日南市）

3 事前告知番組概要

番組は、マイナビ ツール・ド・九州2026の機運醸成・ブランド力向上を目的とする。

大会ダイヤモンドパートナーである「株式会社マイナビ」の1社提供番組とする。

以下の条件を勘案し、具体的な計画案を提案すること。

（1）番組名

大会名称である「マイナビ ツール・ド・九州2026」を盛り込むこと。

(2) 放送時期

2026年9月1日から、エキシビジョンレース開催前までの期間

(3) 番組時間

55分間（CM放送時間約6分含む）

(4) 放送エリア

九州全域（九州外を含む提案も可）

(5) 放送時間

大会機運醸成及び若者（小学生～大学生）に大会への関心を持ってもらうためにふさわしい時間帯を確保する

(6) 番組内容

以下の内容を盛り込み、大会の機運醸成及び若者（小学生～大学生）の関心の喚起（自分事化）につながる番組として制作すること。

①大会ブランド力向上（他大会との差別化）につなげるため、下記内容を盛り込むこと。

- ・大会の目的・意義は、ラグビーワールドカップのレガシー継承、熊本地震や北部九州豪雨等の災害からの復興、サイクルツーリズムの推進等である。
- ・大会テーマ”Make Kyusyu Sustainable～九州の持続可能な未来のために”
- ・SDGsへの貢献要素（具体的な代表例は下記⑥の『locus(ローカス)』の取組)
- ・大会アンバサダーの紹介

②大会の特徴、見どころ

過去大会の映像素材等を活用し、レースの見どころを紹介すること。

③コース紹介

※コース決定・発表は5月下旬

④マイナビ ツール・ド・九州2026に参加する代表的なチームの紹介

※チーム決定の時期は8月以降となる見込み

⑤各ステージ開催県の取り組み

⑥ダイヤモンドパートナーの企業価値訴求（地域・若者との共創）

- ・ダイヤモンドパートナーである「株式会社マイナビ」の地域課題に向き合い新たな価値を生み出す探求学習プログラム『locus(ローカス)』を最低2回は取材し、事前告知番組内で紹介すること。
- ・『locus(ローカス)』の目的である「若者のシビックプライド醸成」について、コース上の地域の地元企業×高校生の具体的な協働の取組を紹介する等の工夫により、視聴者（特に若者）に訴求する構成とすること。
- ・『locus(ローカス)』について、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県で行われるフィールドスタディ及び知事報告会の取材を実施し、自局や各県の系列局の番組で取組内容について紹介すること。

- ・その他のパートナーの取り組みに関する内容は別途提案すること。

⑦認知拡大→大会観戦者・ファン獲得の仕組みづくり

- ・視聴者が実際にレースを観戦しに訪れるように誘導する仕組み
- ・視聴者が大会公式 SNS をフォローするように誘導する仕組み
- ・視聴維持の工夫（CMまたぎ等）

⑧その他、大会機運醸成につながると思われるコンテンツについては、各社自由提案として受け付ける。

(7) 番組放送後の視聴について

放送後も動画配信サイト等で2週間程度視聴できるようにすること。

4 大会事務局より提供できるコンテンツ

- ①マイナビ ツール・ド・九州2026ロゴマーク等、大会アセット
- ②過去大会の記録映像・写真、大会記録、テーマソング等

5 番組使用权について

本番組について、マイナビ ツール・ド・九州2026の機運醸成を目的に、発注先やパートナー企業がHPやSNSで使用することを可とすること。

また、大会期間中に、各ステージベニュー内で映像素材を放映することも可とすること。使用期間は、9月上旬から放送後2週間を想定している。

使用期間の変更により、大会機運醸成につながる著名人を起用した番組が作成できる場合は、別途使用期間等を提案すること。

6 留意事項

- ・番組内で大会の名称を使用する場合には、正式名称である「マイナビ ツール・ド・九州2026」とすること。また、出演者に対しても大会正式名称の使用について徹底させること。
- ・番組の放送内容（映像等）については、大会事務局の確認を経て決定すること。
- ・番組内での著名人起用は可とするが、「オフィシャル●●」や「公式●●」としての起用は主催者と別に調整が必要。また、著名人起用に関する出演料は、委託金額の中に含むこと。
- ・本番組を受注先企業がHPやSNS、映像配信アプリ等で配信する場合は、「大会機運醸成につながる」場合のみ可とする。